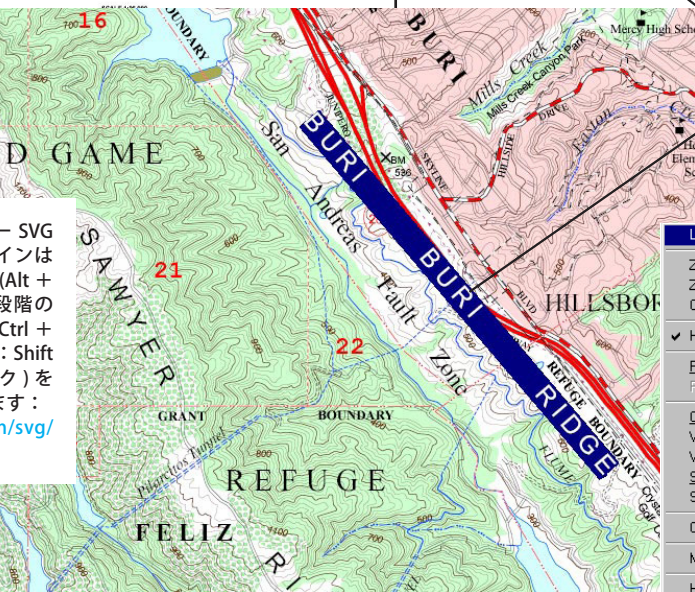
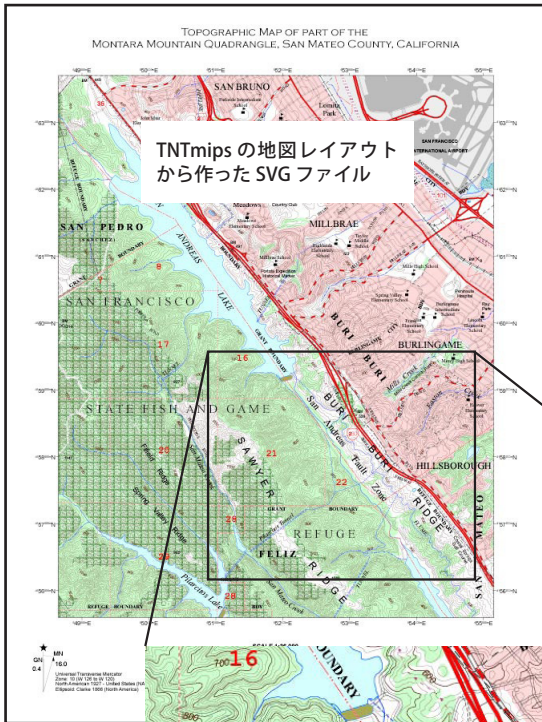


# SVG ファイルの諸機能



Adobe のフリー SVG ブラウザプラグインは画面スクロール (Alt + ドラッグ) や数段階のズーム (縮小: Ctrl + クリック、拡大: Shift + Ctrl + クリック) をサポートしています:  
[www.adobe.com/svg/viewer/install/](http://www.adobe.com/svg/viewer/install/)

SVG ファイルは比較的小さく、簡単に圧縮解凍できるので、特に web ベースの地図配信に適しています。

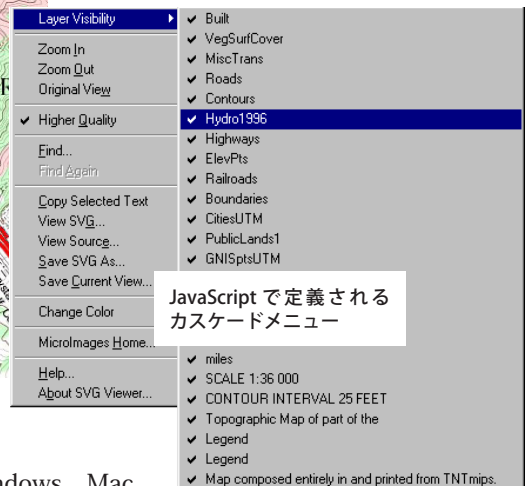
SVG (Scalable Vector Graphics) は W3C のオープン規格であり、所有権による制約はありません。SVG は XML に準拠しています。

SVG はテキストベースのファイル形式であり、人が見て分かる形式で書かれています。標準テキスト検索機能に対応しています。SVG ファイルにはベクタグラフィック図形、画像、テキスト、対話的イベントが含まれ、HTML、XML、JavaScript、CSS など一般的な Web 技術に対応しています。

SVG は柔軟で拡張性のあるフォーマットであり、GIS や地図製作アプリケーションに適しています。SVG では地図上の個々の要素を表現することができ、ポイントシンボル、ラベル、ラインシンボル、ビットマップ塗りつぶし、半透明ポリゴン、背景のラスタ画像、複雑な凡例、そしてポータブルフォントをサポートしています。

実際、web ベースの地図製作において SVG を上回る製品はありません。

SVG ではテキストの回転や曲がったパスに沿ったテキストがサポートされています。テキストは実際に XML ドキュメントの中にありますので、SVG ビューアの中で直接選択して、コピー・ペーストすることができます (図の **BURI BURI RIDGE** のように)。また、ブラウザの「ページ内テキスト検索機能」を使って地図中のラベルや凡例の項目を捜すことができます。



SVG は多くの XML 開発ツールから恩恵を受けています。SVG は Windows、Mac、Linux、UNIX などのプラットフォームで動作します。XML での開発はあらゆる分野で行われており、そのため SVG は GIS ではないソフトでも容易に統合できます。多くの分野で XML が使われているおかげで、幅広い人々に開発のコストが分散しています。SVG はグラフィック要素と非グラフィック要素を巧妙に結びつけているので、強力に幅広く利用されている技術を使ってスマートで対話的な地図を作成することができます。

TNTmips のレイアウトから作られた一連の SVG 地図がマイクロイメージ社の Web サイトに掲載されています。レイアウトは比較用に RVC/PDF/SVG フォーマットで提供されています。

<http://www.microimages.com/documentation/SVG.htm>